

平成 30 年 9 月 3 日
 鹿児島地方気象台

九州南部・奄美地方の夏（6～8月）の気候統計値

台風や梅雨前線の影響で大雨となった日があり、降水量は多く、奄美地方ではかなり多かったです。

6月：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。九州南部では、19日から24日にかけて前線の活動が活発となり、大雨となった所がありました。奄美地方では、14日から16日にかけて低気圧や台風第6号の影響で大雨や荒れた天気となりました。
7月：上旬は台風や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、2日から3日にかけては台風第7号の影響で大雨や荒れた天気となった所がありました。また、5日から8日にかけては九州付近に前線が停滞し活動が活発となったため、大雨となった所がありました。中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、台風第10号や第12号の影響で、下旬のはじめと終わりは大雨や荒れた天気となった所がありました。
8月：上旬と下旬の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、中旬から下旬の前半は台風や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、台風第15号や第19号の影響で大雨や大荒れとなった所がありました。

平均気温：「高い」地点が多く「かなり高い」地点もありましたが、油津と沖永良部では「平年並」、名瀬では「低い」となりました。

降水量：「平年並」か「多い」となり、「かなり多い」地点もありました。

日照時間：宮崎県の全ての地点と沖永良部で「平年並」、鹿児島、阿久根、枕崎では「多い」、屋久島、種子島では「少ない」、名瀬では「かなり少ない」となりました。

2018年夏（6～8月）の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級				
	()	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)			
宮崎県	宮崎	26.4	(+0.6)	+	1401.5	(136)	+	47	555.6	(101)	
	延岡	25.7	(+0.7)	+	1374.5	(155)	+*	43	534.8	(100)	
	都城	26.0	(+0.7)	+*	1222.0	(105)		47	483.4	(101)	
	油津	26.2	(+0.2)		1083.0	(112)	+	48	497.7	(96)	
鹿児島県	鹿児島	27.6	(+0.7)	+*	822.0	(83)		32	559.1	(108)	+
	阿久根	26.4	(+1.0)	+*	893.5	(97)		28	646.0	(113)	+
	枕崎	26.6	(+0.7)	+*	764.0	(90)		36	600.9	(107)	+
	屋久島	26.3	(+0.4)	+	1678.5	(124)	+	50	482.0	(90)	-
	種子島	26.7	(+0.3)	+	896.5	(103)		44	528.2	(89)	-
	名瀬	27.5	(-0.2)	-	1502.0	(171)	+*	52	410.2	(81)	-*
沖永良部	27.5	(0.0)		843.0	(147)	+*	36	707.2	(101)		

(注意)・「階級」の欄の符号は、+:高い(多い) :平年並 -:低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981～2010年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+・-」に*を付加した。この場合には +*:かなり高い(多い) -*:かなり低い(少ない)と表現できる。
 ・値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2018年夏（6～8月）の順位更新表（順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。）

・3か月間の平均気温（高い方から）

順位	地点名	値()	平年値()	平年差()	これまでの1位() (西暦年)	統計開始年
2	阿久根	26.4=	25.4	+1.0	26.5 (2013年)	1939年
3	枕崎	26.6=	25.9	+0.7	26.8 (2013年)	1924年

問合せ先：鹿児島地方気象台 季節予報担当 電話 099-250-9912 FAX 099-255-4234